

エコドライブで地球にやさしい運転しませんか

エコドライブは、ちょっとの心がけで誰にでもできる運転を実践することで、地球に優しい省エネ、燃費アップにつなげようという取り組みです。

エコドライブを実践すると、燃費がよくなり、地球温暖化に大きな影響を与えるCO₂の排出量を削減できます。また、燃料代もお得になるうえ、

自動車に優しい運転であるため、自動車自体が長持ちします。さらに、NO_x等の大気汚染物質の排出量も減り、私たちの身近な生活環境も改善されます。

まだ実践していない方は、ぜひ次の10の取組を実践してみましょう。

【エコドライブ10のすすめ】

1 ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。

2 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。

3 減速時は早めにアクセルを離そう

早めにアクセルから足を離すとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

4 エアコンの使用は適切に

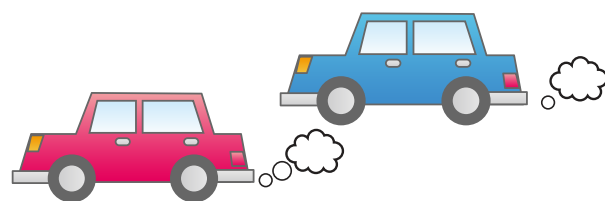
車のエアコン(A/C)は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。また、冷房が必要なときは、車内を冷やしすぎないようにしましょう。

5 ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐車の際は、アイドリングはやめましょう。現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です。エンジンをかけたらすぐに出発しましょう。

6 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕をもって出発しましょう。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。



7 タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します(適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合)。また、エンジンオイル・オイルフィルタ・エアクリナエレメントなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

8 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。

9 走行の妨げとなる駐車はやめよう

交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞をもたらします。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因にもなります。

10 自分の燃費を把握しよう

日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。車に装備されている燃費計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。

ちょうふ環境にゆ〜す



未来へつなぐ調布の環境

●発行：調布市環境部環境政策課

●連絡先：電話：042-481-7086(直通) F A X: 042-481-7550

メールアドレス：kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ左下からリンクしています)。

2013年1月
第15号

刊行物登録番号
2012-177

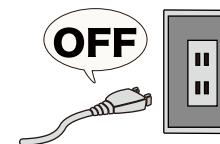
実践していますか? 冬の省エネルギー

調布市では、政府が実施する「チャレンジ25キャンペーン」に参加し、地球温暖化対策に取り組んでいます。

冬期は、暖房・照明機器の使用が増加します。またこの季節は、夕方の電気使用が多くなり、午後5時~6時頃が電気使用のピークといわれています。

東京電力管内では、12月3日~3月29日の平日(12月31日、1月2日~4日を除く)の午前9時~午後9時に、政府が数値目標を伴わない節電を呼びかけています。

地球温暖化防止のため、冬の節電をはじめとする省エネルギーに取り組んでみませんか。



【主な冬の省エネ事例】

①暖房は20℃に設定する

②電気カーペットは部屋の広さや用途に合ったものを選び、温度設定をこまめに調節する

③不必要な暖房機器の使用を控える

④電気ポットは、長時間使用しないときは、コンセントからプラグを抜く

⑤電気・ガス・石油機器などの購入時は、省エネタイプのものを選ぶ

※そのほかにも、様々な省エネ方法があります。家庭の事情に合った無理のない省エネを実践しましょう

環境モニターの活動

今年度の環境モニターでは、多摩川の植物図鑑を制作することを目的に、多摩川を中心とした観察活動を行っています。

第4回活動 多摩川の自然

11月3日に多摩川河川敷で、第4回の観察会を実施しました。

前回の観察会は雨天で途中中止となりましたが、今回は天候にも恵まれて通常の観察コースをすべてまわることができました。

観察では、これまでの観察会では見られなかったニガカシウなどが見られるなど、新たな発見のある観察会となり、63種類もの植物を観察することができました。



第4回観察会の様子

調布そぞろ歩き

10月6日に、一般の参加を募った環境ガイドツアーである「調布そぞろ歩き」を実施しました。これは環境モニターのサポーターが中心となって企画立案、実施している催しです。

今回は調布ヶ丘から佐須町までの寺社や公園にある樹木の観察を中心に、神主さんから昔の様子などを伺うなど、かつての調布の生活と樹木のかかわりを知るツアーとなりました。当日はサポーターも含めて23名の方々に参加いただきました。



調布そぞろ歩きの様子

調布こどもエコクラブの活動

市では、市内の小中学生を対象に毎年4月に調布こどもエコクラブの会員を募集しています。今年度は21人の子どもたちが会員となり、活動をスタートしました。

なお、11月に予定していた第5回の活動は、残念ながら雨天のため中止となりました。

第4回川の石調べとストーンペインティング

10月27日に、京王相模原線鉄橋下の多摩川河川敷で、川の石調べとストーンペインティングを実施しました。

当日は他の行事と日程が重なってしまったため、4人の子どもたちとその保護者の方々に、計7名の参加となりましたが、普段はあまり気かけない石にいろいろな種類があり、中には調布の多摩川では珍しいものもあることを講師から解説を受けると、子どもたちは宝

探し気分で熱中して様々な石を採集しながら、石の見分け方を学んでいました。

また、その石をキャンパスに見立てて絵を描くストーンペインティングの体験では、子ども達の自由な発想で様々な絵を描いて楽しんでいました。



第4回活動の様子

調布水辺の楽校の活動

11月3日、多摩川流域7小学校の児童と保護者58人が参加し、今年度3回目となる調布水辺の楽校の活動として、多摩川の自然観察と清掃を行いました。

当日は、3グループに分かれ、集合場所の布田小学校から自然観察を行いながら河川敷に向かい、植物や昆虫、鳥、川の様子などを観察しました。

その後、空き缶や、ペットボトルなどのごみを拾いながら布田小学校に戻りました。



活動の様子

多摩川自然情報館まつり

11月10日、多摩川自然情報館まつり2012が開催され、当日は親子連れなど397人の方が来場しました。

会場では、子どもから大人まで楽しめるゲーム・クラフトコーナーや、生き物プールの生物観察、ウサギの飼育体験のほか、わかば事業所活動展示

や地域の染地婦人会によるバザーなどの出し物で賑わいました。さらに、多摩川源流の地である山梨県小菅村の物産展もありました。



当日の様子

雑木林塾の活動

市では、昭和30年ごろまで生活と農業に深くかかわってきた里山の雑木林の現状を知り、市内に残る樹木の維持管理に役立つ知識と技能を身につけることを目的に毎年、雑木林塾を実施しています。

この雑木林塾は、ちょうふ環境市民会議のメンバーが企画・運営しています。

今年度は、中級講座2回と初級講座4回実施することとし、それぞれ会員を募集し、7月までに中級講座を2回実施し、9月から初級講座を実施しました。

初級講座第2回「雑木林の生態系と現状を知る」

初級講座の第2回目の講座は、10月28日に開催されました。

午前中は、佐須ふれあいの家で、雑木林の生態系とその現状について講義し、主に生き物と雑木林の関係性について学習しました。

午後には、深大寺自然広場に移動し、午前の講義で学習した内容について、実際に現場で確認と体験を行いました。

初級講座第3回「雑木林はどう維持されてきたか」

初級講座の第3回目の講座は、11月25日に開催されました。

午前中は、入間地域福祉センターで、雑木林はどう育て維持されてきたかをテーマに講義をし、雑木林の成り立ちや植生の調査方法について学習しました。

午後には、入間町1丁目樹林で、植生調査の実習を行いました。



初級講座第3回 活動の様子

初級講座第4回「雑木林の作業に必要な安全管理と技術」

初級講座の第4回目の講座は、12月22日に開催されました。

午前中は深大寺自然広場か山キャンプ場で、冷たい雨が降りしきる中、鎌や鋸を使った雑木林の管理に必要な道具の使用法や保全作業について実習しました。

午後には、北部公民館で雑木林の作業に必要な安全管理について学習しました。また、初級講座最終回ということで、全4回の振り返りを兼ねて、これまでの活動内容についてのパネル作成も行いました。



初級講座第4回 活動の様子

いつまでも多摩川をきれいに！秋の多摩川クリーン作戦を実施しました

11月11日に、秋の多摩川クリーン作戦を実施しました。

このイベントは、私たちの身近な多摩川を「きれいな、親しまれる」川にすることを目的に、昭和54年秋から始め、春秋合わせ今回で65回目となります。

当日は、多摩川流域の自治会、少年野球チームなどの団体や家族や個人参加の市民など大勢参加がありました。開始に当たり、長友市長のあいさつの後、諸注意や分別方法についての説明を行いました。その後、

参加者の皆さんは、上流または下流方向に進み、ごみの回収を始めました。

この日回収したごみは、燃やせるごみ約470kg、燃やせないごみ約1トン、空き缶・空き瓶929本、ペットボトル960本もありました。



活動の様子

喫煙マナーの向上を目指し、マナーアップキャンペーンを実施しました

11月5日からの5日間、喫煙者に喫煙マナーの向上を呼びかけるマナーアップキャンペーンを市内9駅で行いました。

初日は、調布駅南口駅前公園で開会式を実施し、多くの方々にご参加いただきました。

期間中は、ポイ捨てや歩きタバコ禁止を市民の皆さんに訴えかけました。今回多くの市民・事業者方々に

ご参加いただき、皆さんの美化意識の高さが実感できるキャンペーンとなりました。



活動の様子